

# さわやかワークセンター

## 令和3年度（2021年度）事業計画

### 1, 運営方針

就労に向け、希望を失わず、1人ひとりが明るくさわやかに作業や訓練に取り組み、自信をもって就労に踏み出し、仕事を続けながら地域で暮らし続ける場と機会を提供します。

### 2, 職員等配置計画

職員 11名                      非常勤職員 21名                      合計 32名

### 3, 今年度の重点目標

法人重点推進事項（1）質の高い支援（虐待防止、権利擁護）			取組時期	
1	利用者の言動や生き方を否定しない。	内容	利用者の行いを、否定しないで、一旦受け入れ、一つずつ一緒に紐解いていく（寄り添い）支援を行う。	通年
2	就労・定着支援	内容	コロナ過でも利用者の目標を達成できるよう、また安定して就労を継続できるよう丁寧な支援を行う。	通年
既存事業の機能強化				
3	飲食事業の再編	内容	Cafe Cosmo 事業拡大、区民プラザでの新規事業の検討及び始動	通年
4	事業所移転の準備	内容	作業種や環境面の見直しと整備	通年

### 4, 利用者受入・工賃計画（4月1日現在）

在籍	44名 就労継続支援B型 39名 就労移行支援 5名	新規利用者	0名 就労継続支援B型 0名 就労移行支援 0名	定員	40名 就労継続支援B型 34名 就労移行支援 6名
年間開所日数	250日	利用率目標	84%（昨年度比1%アップ）		
目標平均工賃（B型）	42,000円	前年度上期平均工賃（B型）	33,924円		
自主製品（水引）売り上げ	100,000円	令和2年度平均工賃予定	41,727円		

### 5, 年間行事計画（詳細別紙）

4月		10月	しょうがい者の日のつどい
5月		11月	研修旅行
6月		12月	
7月		1月	新年会（成人・還暦祝）・歯科検診
8月	健康診断	2月	
9月	ふれあい蓮沼祭り（予定）	3月	就労を祝う会

## 6, 地域公益活動の推進

	実施項目	具体的内容
1	地域まつり	第13回蓮沼ふれあい祭
2	フードバンク	生活困窮者へ食糧提供を実施。

## 7, 地域・関係機関連携

	実施項目	具体的内容
1	地域交流・連携	地域防災パトロール参加、西蒲田二・三丁目自治会防災活動拠点会員として会議、防災訓練等参加 蒲田西地区地域交流会参加
2	福祉人材受入	福祉実習の受入 ボランティア受入
3	広報活動等	広報誌を年3回発行。適宜、ポスターちらし配布、ホームページの更新。

## 8, 人材確保・育成とサービスの質向上の取り組み・研修計画(\*事業所計画)

目的：「一般相談を志向したコーディネート」の実践を推進する。

	実施項目	具体的取組
1	OJT・職場内研修	OJT体制の整備や、チェックリストの活用による業務能力向上。事例検討の推進。
2	外部研修	職層スキル・職員個別ニーズに合わせた研修、就業支援基礎研修参加。
3	自己研鑽支援	資格取得支援制度の周知徹底。外部（WEB）研修の情報提供、書籍等の購入や回覧。

## 9, 権利擁護・虐待防止の取り組み

	実施項目	具体的取組
1	虐待防止 権利擁護	「徹底した現場主義の事例検討を軸とした（寄り添う）伴走型支援で自立型権利擁護へ転換を推進する」 * 「法人サービス利用者の権利擁護規程」「社会福祉法人大田幸陽会サービス提供ガイドライン」等を踏まえた支援 * 「虐待防止対応要綱」に基づく法人および事業所虐待防止・人権委員会の取り組みの推進
2	苦情解決	「苦情解決制度に関する要綱」に基づいて適切に対応
3	個人情報保護	「個人情報保護規程」および「特定個人情報規程」に基づいて適切に対応

## 10、法令遵守に関する取り組み

	実施項目	具体的取組
1	法令遵守	法令遵守推進に関する関係法令・条例・法人諸規程等に基づき適切に対応
2	「働きやすい職場」づくり	「TOKYO 働きやすい福祉の職場宣言」の継続した取り組み推進及び、「働き方改革」に対応した法人の取り組みとの連携

## 11、危機管理計画

	実施項目	具体的取組
1	防災関連	定期防災訓練の実施・避難所開設検討会への参加 地域防災訓練に参加
2	緊急時対応	「緊急時対応マニュアル」により対応

## 12、その他

第三者評価受審結果よりさらなる改善が望まれる点への取組計画

タイトル1	ミーティングや会議で検討・決定した結果について、支援マニュアル作成につなげていくことが期待される。
内容	日々のミーティングや職員会議等での検討を経て、決定された業務手順や改善された支援方法等をマニュアルに反映するしくみが不十分なため、法人統一の既存の支援マニュアルをもとにしながら、事業所での検討や更新を行う。
タイトル2	事業所が求める人材像と職員の能力向上とを着実に結びつけるために、個別育成計画を策定し学びの機会を確保されたい。
内容	自己評価表、自己申告書、職員キャリア形成シートや個別面談を基に明らかになった研修ニーズがあるが、個別の育成計画策定には至っていない。 職員キャリア形成シートや職員からの研修ニーズの聞き取りをもとに、個別の育成計画を策定、実施する。
タイトル3	定年退職後の利用ニーズが高まる中で、さらに特化したプログラムの作成等に取り組まれたい。
内容	定年退職した後にサービスを開始する利用者が増加してきているため、高齢に特化したプログラムの作成などの必要性がある。 高齢に特化したプログラムの検討と、ご本人の加齢段階に合わせたサービスの使い方(デイサービスとの併用)の推進を行う。

別紙添付 令和3年度年間計画